



中川村四徳

堀破沢砂防堰堤の工事用道路工事、鋭意施工中です

堀破沢砂防堰堤の役割

小浜ダムの湖へ大量の土砂が流れ出るのを防いだり、中川村が計画する四徳温泉オートキャンプ場の周辺整備に合わせ、附近を土砂災害から守ります。



斜面を削り緑化



四徳川を横断する橋

砂防堰堤の建設にあたり、工事用の進入路として、森林体験館（中川村四徳）下流の四徳川に橋を架け、斜面を若干、削ったり、盛ったりしています。その際、斜面は緑化しています。

地元関係者、地主さんの協力を得て、法面工事をしています。斜面は岩盤の上に風化した土が被っており、これらが滑らないように工夫しています。

四徳川を横断する長さ 21mの橋で、橋の重量を軽くするために直径 65 cmの空洞が3本、桁の内部に入った珍しいタイプです。

一口メモ



(工事場所周辺にある四徳学校跡地の石碑)

四徳学校は、明治6年9月1日に三楽^{さんらく}学校として開校し、昭和36年の大災害まで約1世紀の間、四徳住民を育てた教育の場でありました。この付近を中心に80戸400名が生活しておられましたが、昭和36年の災害で全壊、ついには立ち直ることができず、集団移住を余儀なくされたところでもあります。

このような歴史ある場所での工事のため、関係者一同、思いを込めて頑張っています。

三楽の三には「すばらしい」との意味合いがあり、今日のように義務教育が施されていない時代に、「教育を受け楽しい人生を過ごそう」という願いが込められていました。(四徳人会 小松谷雄様より)